

CASE16

川崎市生産性向上・働き方改革取組事例

株式会社 しむら

▶ 自社で製造・販売しているセサミオイル



COMPANY DATA

業種 化粧品製造小売業
事業内容 天然素材を原料とした化粧品・ヘアケア製品の企画・製造・販売
創業 1972年12月
代表者 代表取締役社長 川崎 雅代
所在地 川崎市宮前区馬絹 6-20-1
従業員数 10名（正社員4名 非正社員6名）

企業紹介

現代に生きる人々の健康、美容に貢献することを志として、セサミオイルやヘナなどの天然素材をベースとした化粧品やヘアケア製品のほか、天然ハーブを使用した犬用の毛染トリートメントを製品化し、販売する。また、社長である川崎氏がNPO法人日本アーユルヴェーダ協会理事を務めることから、アーユルヴェーダサロンやヨガスタジオの運営も行う。



女性が長く、安心して働き続けられる職場をつくる



①フレックスタイム制度の仕組みづくり ②子育て・介護がしやすい職場づくり ③倉庫作業の簡略化

1 経営課題

Task

従業員の9割が女性であることから、女性が働きやすい職場づくりはかねてより課題になっていました。社員間で調整し、時短勤務をはじめ可能な限り子育て中の社員の都合に合わせてきたものの、制度化ができておらず、統一感のない状態に。現在の対応を制度化するための仕組み、規程の整備が急務でした。

2 取組概要

Approach

現在の勤務体系に合わせて、育児・介護休暇の規定化を実施しました。現在、フレックスタイム制・短時間正社員制度の導入を目指し、規定の見直しを実施しているところです。さらに、商品・資材の在庫管理システムや軽量ラックを導入するなど、倉庫内の環境整備にも着手し、効率性と安全性を高めました。

3 実施効果

Effect

育児・介護休暇の規定が整備されたことにより、社員が公平に制度を活用できる環境になるとともに、新たな人材も受け入れやすくなりました。また、在庫管理システムの導入においては、本社と倉庫間の往復時間を短縮したことから、労働時間を大幅に削減、生産性向上・働き方改革の両面で効果を発揮できました。

経営者
INTERVIEW



働き方改革は従業員に寄り添って取り組む

従業員の心が健康でなければ、健康をテーマにする企業が成長することはできないと考えています。それに能力のある女性が、**子育て、介護でキャリアが途切れてしまい、社会に居場所がなくなってしまうのはあまりにもったいない。**いまは時短勤務の制度化やテレワークの実施など、一つひとつ形にしているところです。今後もさらに働き方改革を進め、**女性の活躍に、ひいては健康な社会づくりに寄与したい**と思います。

代表取締役社長 川崎 雅代

今後の展開

- ・ 新たな従業員の採用
- ・ テレワークの推進

社労士による取組評価

社長の経験や思いから、女性の活躍しやすい環境を整え、自分の生活や子育てと仕事を両立できるよう、社員間で支えあう体制を重視していました。同時に、今後社員の更なる採用をしていくためには、この取組を会社の制度として確立する必要性があることも感じていらっしゃいました。そこで、育児休業の規程化、午後の勤務を柔軟に行える「フレックスタイム制」や、短時間勤務でも正社員としての処遇を実現する「短時間正社員制度」の導入を目指すなど、さらに働きやすい職場にするため、制度改革に意欲的に取り組まれています。